

2025年 8 月
第 3 1 8 号
発行責任者
菊池 伍郎
TEL/FAX
7154-0526
(部内資料)

引き続き公約実現へ

の国
回
の

《反対》流政会7人、公明党4人、流山みらい4人、自民2人、無所属の鈴木、矢口

質疑から
質疑の中では①犬の糞
尿対策（環境整備）を議

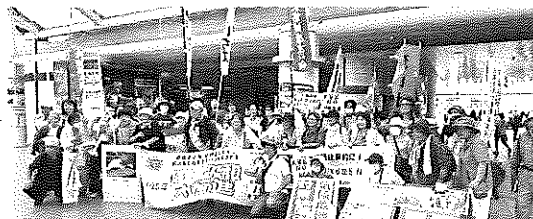
果はあったのか？⑤江戸
小の給食調理場について

を批判する。株主になって総会に出ようという一株運動もある。一方で積極的なものを言い、会社を牛耳り巨利を得ようという集団がある。▼アクティビストという投資家のグループだ。会社の儲けを内部留保したり、賞金や設備投資に回さずに株主への配当を倍にしろなどと総会で決めたさせる動きで活発化している。投資家には寝ていても金が入り、会社は吸い付くされて、新規事業も出来ず、いずれ倒産したりする。資本主義の行きつく先の金の亡者だ。

戦後80年・被爆80年

日本政府は核兵器禁止条約に署名を！

戦後80年・被爆80年の今年、7月



21日(月) 流山のおおたかの森セーナーで、原水禁禁止「平和のつどい」と「流山市国民平和大行進」が行われました。

日本平和委員会事務局長・千坂純さんによる講演「被爆の実相と、現在の日本の軍事情勢」が行われた後、北海道の礼文島からの通し行進者の渡邊正郎さん(タスキをかけた「平和がいちばん 被爆者援護」「核兵器廃絶

子どもを守ろう」の二本の旗を背に3か月間行進して来ました)や原水禁大会に参加する方たちのなどの決意表明がありました。

その後、流山おおたかの森駅まで「日本政府は核兵器禁止条約に署名を！」と平和行進。

「戦争は嫌だ」の声を

「軍備拡大は反対」の声へ

戦争体験者の話を聞いたり、現在進行中のウクライナやガザでの戦争を目にしたりして「戦争は嫌だ。」というのは圧倒的多数の国民の願いでしょう。しかし、それが日本政府による軍拡や「戦争準備」反対の声にならないのはなぜでしょうか？

それは強い軍隊は「抑止力」になるからだと思われているからだと思います。これは真理でしょうか。歴史を振り返っても強い軍隊を持つことによって、平和は訪れたでしょうか？ 自国が軍事力を増

強すれば相手も軍備を増やし、争いの連鎖は返りません。ではたしかに「武力で平和はつくりえない」が歴史の教訓です。

政府は今、敵の国を攻撃できるミサイルを南西諸島などに多数配備しようとし、戦争になった時の避難計画まで作っています。いざとなったら、戦争を起してもいいんだと考えているという事ではないでしょうか。

6月議会請願・陳情1面の続き

団体からの請願書・陳情 (敬称略)

新日本婦人の会流山支部から
「食料自給率向上都市宣言を求める請願書」

11対16で不採択
《賛成》日本共産党4人、流山みらい3人(宇田、西尾、藤井)、社民党の阿部、参政党の清水、流政会の青野、無所属の楠山

《反対》流政会6人、公明党4人、自民党2人、流山みらいの中村、立憲民主党の森田、無所属の鈴木、矢口

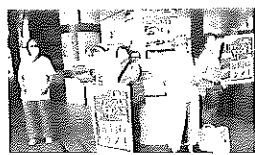
社協から陳情
「ケア労働者の賃上げや人員配置増を求める意見書を国に提出してほしい」25対2で採択(反対は無所属の鈴木、矢口だけ)

「国保財政への国庫負担の増額を求める意見書を国に提出してほしい」全会一致で採択

戦争が嫌なら、軍拡をすすめ、戦争の準備に熱心な政府ではなく、外交と対話を重視し、戦争は絶対しないんだと決意し、そのために力を注ぐ政府にしたいといけないう思います。なぜなら、戦争を始めるのは政府だからです。西深井 酒井

差別主義に怒りの行動

参議院選挙中、外国人を標的にする差別の言動に怒りの抗議・糾弾。有志たちがおおたかの森駅で「人間にファーストもセカンドもない！ 次は女性や弱者に向けられる差別だ」と行動。K



と行動。K

今年には敗戦から80年の節目の年、私は国民学校2年生で終戦を迎えました。子供心に感じたことをお話しします。

私は、福島県と宮城県境の阿武隈川がすぐ近くに流れている畑作農家の生まれです。戦争の悲惨さは体験していませんが、長男(大正14年生)が「勝つて来るぞ」と勇ましく、「...」と軍歌と日の丸の旗に見送られ戦場へ...

平和への願い戦後80年に思いを寄せて

菊池 伍郎

私も子供のころから歌が好きで「同期の桜」や「若鷲の歌」など歌いました。本当に勇ましい歌で戦争ですごいなあと感じました。

増産のため麦を作りまし。体操の時間に先輩達と突撃の訓練も見ました。学校の帰りに、空襲警報が鳴ったら口と耳をふさいで道の端にうつ伏せになるようにとも言われ

驚いたこと、河川敷に日本の練習機が墜落したと聞き行ってみました。何と紙で作った飛行機です。鉄不足から観音様の鉄の半鐘まで供出させられました。(次号に続く)

第3回 平和のための戦争展・流山

2025年 9月6日(土) 7日(日)

流山市生涯学習センター

武力で平和はつくれるの？

～戦争だけは絶対にはじめてはいけない～

◎映画「シャドーディール武器ビジネスの闇」上映

◎講演 杉原浩司さん「日本は『死の商人』になるのか」

～私たちの暮らしと武器ビジネス

◎朗読 ジョー・オタネル「トラソクの中の日本」

◎戦争体験を語る会

◎講演会 東京新聞記者 望月衣瑠子さん

「平和を守るため、私たちにできること」

◎展示：◆広島の高校生が描いた原爆の絵◆被爆者の証言映像◆

原水禁世界大会参加報告◆戦争資料◆平和の俳句・川柳応募作品

など 映画・講演会は各500円(学生無料)

日本共産党発行

しんぶん 赤旗

F 刊 月 3497円

E 陸 月 990円

スクープで話題の赤旗をあなたも読んでみませんか？ 知りたい情報満載です

「しんぶん赤旗」は政治を変える道しるべ

フェイクニュースや排除主義を主張する政党の本質を伝えるしんぶん赤旗をお読みください。勢いだけで民心をあり、差別や戦前回帰の危険を論拠に基づき追及しています。

あすなる川柳

●春・秋も

梅雨さえなくなるこの日本

●敗北の原因認めず

自見ん党

●低空を

飛び続けるか

●石破号